

【令和2年度第1回博物館協議会 会議録】

- 1 日時 令和2年6月26日（金）午後2時～午後4時
- 2 会場 松本市立博物館 2階 講堂
- 3 出席 笹本委員、横澤委員、徳武委員、百瀬委員、村井委員
山根委員、米山委員、奥村委員
- 4 事務局出席者 木下博物館長、中原基幹博物館建設担当課長、百瀬庶務担当課長補佐、山村課長補佐（国宝旧開智学校校舎館長）、三木基幹博物館建設担当係長、小原事業担当係長、手島松本民芸館長、上條旧山辺学校校舎館長、河内考古博物館長、朝倉旧制高等学校記念館長、勝野窪田空穂記念館長、窪田重要文化財馬場家住宅館長、浅村時計博物館長、岩岡四賀化石館長

5 傍聴者 2名

6 会議の概要

(1) 開会（司会者）

(2) 会長あいさつ

博物館は本来的に三密の場所。資料の保存のため密にしておかなければ、虫は入って来るし、温度も空気も調節できない。

コロナ対策は今までわたちがやっていたことが全部否定されてしまったような状況。一方でWEB上の情報発信が進んでいる。

本日は、任期という意味では最後なので、WEB会議・書面会議が推奨されるなか、あえてこういう形で顔を合わせて会議とした。

少しでも博物館が良くなるように、そして市民の皆さんが喜んでくださるように、博物館は何かできるか、という視点から皆様にはご協力いただきたい。

(3) 博物館長あいさつ

事務局不慣れにつき事前に資料を配布できなかったことをお詫びします

(4) 事務局自己紹介

7 議事（報告）

(1) 令和元年度博物館事業費について（報告）

笹本会長 次回からはなるべく一週間前に届いてなるべく多くの方が、目を通したうえで意見が言えるように重ねて願います。

奥村委員 重要文化財馬場家住宅の企画展「明治初めの道中日記記録を手掛かりに」興味を持った。

(2) 令和元年度博物館歳入歳出決算について（報告）

笹本会長 令和元年度の事業報告をしていただいたが、コロナの影響を非常に受けている。

村井委員 それぞれの館が工夫して企画をしている。子どもたちがどうしたら博物館に足を運んでもらえるか。体験できるので四賀化石館の人気がある。博物館まつりに伺えなかったのも、どういう形だったのかとても興味がある。

木下館長 市民学芸員、友の会、ボランティアエムの会の皆さんの文化祭のような発表の場ができるといいということで始めた。今年はコロナの関係でどうなるか、皆さんと検討しながらやっていきたい。

百瀬委員 博物館まつりはコーディネーターが必要と思う。

横澤副会長 一步踏み出したという事に意義があるが、これから色々と工夫をしたり反省をしたりすることがある。これからはインバウンドの観光客はあてにならない。地元の物を深く掘り、観光客を増やしていく、それは町づくりに深く関連していくということ。コミュニケーションのあり方が非常に問われるような時代になる。

(3) 令和2年度博物館協議会事業計画について説明

笹本会長 ありがとうございます。新博物館がどうなっているか、その他の部分でお願いしたい。

(4) その他

基幹博物館整備について説明

(意見質問等)

山根委員 地域の自分たちが楽しんで、自分たちで享受してそれを観光客にみてもらおうということ。イベントの件だが、2017年と2018年の市の文化的なイベントとは2年間では230本ある。そのうち8割は博物館・美術館・松本城で、音楽のイベントは2年間で47本。圧倒的に文化・芸術系のイベントっていうのは博物館・美術館で、教育の一環で非常に大事なことだと思う。

博物館は教育の一環に徹底していただくということがとても大事なかなと思う。村井委員のいうように四賀化石館はおもしろい。福井の恐竜博物館も化石を取りに行くけれども、ほとんど見つけられない。でも四賀化石館は100%見つけられる。すごい充実感があってとても楽しい。コーディネーターがマッチして、上手くお話をできることも面白いと思う。

文化芸術に係る経費というのが、松本は3%、フランスは1%で、松本が世界で1位。松本で文化に触れるのはすべての住人であるということを踏まえ、住人の人たちが地元の博物館・美術館を楽しんでいただいて、文化と芸術に触れる。生涯にわたってそういうチャンスを博物館で作るというようなことであれば、皆さんの子供さんお孫さんたちが文化芸術に非常に興味を持って、それを博物館が育てているということならば、文化芸術に係る経費が3%だって何か言われる必要はないかなと思う。

徳武委員 私は学校の立場から。コロナ禍でバスでの見学は禁止されているので、博物館から学校へ来ていただきたい。可能であれば小学生は全館無料に統一していただき、できるだけ来館しやすい環境にしてもらいたい。博物館まつりには、中学生・高校生は部活が忙しいのであまりいけないと思うが、子どもたちにいかに興味を持ってもらうかということが大事。

米山委員 歴史の里は蚕糸を扱っているが、稲核の風穴など松本は蚕種に力を入れてきたので蚕種に関する企画展を開催してほしい。